

自己評価シート【中目黒住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の理念や方針は、おたよりやパンフレット、チラシなどを通じ周知しています。月のおたよりには行事のねらいや、職員の思いなどを掲載し、児童館をより理解していただけるよう努めています。昨年度改定した児童館パンフレットも活用し、特に乳幼児保護者への周知に活用しています。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
年間事業計画立案の際に理念や基本計画を確認し、事業計画に反映しています。地域の方や保護者には、児童館事業への参加・協力、懇談会等を通じて、児童館の理念や方針を伝えるようにしています。	職員間で十分な共通認識を持てるよう引き続き努めていくと共に、地域の方へより丁寧に周知できるよう改善していきます。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	年間事業立案の際に、ガイドラインや運営指針を踏まえた事業目的を設定し、自館事業に盛り込むようにしています。
2-1-(2)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。	
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。	
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	各部屋（遊戯室・プレイルーム・図工室）の設備や機能を活かした遊びや活動を展開し、安心して楽しく過ごせる居場所の提供に努めています。また、館内の他所管と連携した事業や、地域ボランティアの方の協力による乳幼児事業なども展開し、大人同士の関係作りにも努めています。
2-1-(3)	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
(b) -	
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	定期的を実施する「宝島子ども会議」を通じ、目黒区子ども条例についての啓発や子ども達からの意見集約を行っています。会議で出された意見は、日常の遊びや事業に反映させ、対応が難しいもの（施設の構造改善等）については理解を得られるよう、館内掲示などで回答しています。日々子ども対応においても、人権に配慮しつつ、どの子どももやりたい遊びができるよう調整や相談を援助し、子ども間で揉め事が起こった際には双方の言い分を聴き、納得を得られるような解決に導いています。
2-1-(4)	
児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
各室（遊戯室、プレイルーム、図工室）の設備や機能を活かした遊び・活動を提供し、子どもの豊かな育ちを援助しています。	児童館の理念や活動方針を周知するための掲示物に、更新の必要な物があるため、子どもたちにより分かりやすく掲示できるよう改善に努めます。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2- (1)	
子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。	
(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの様子について、打ち合わせ等以外でも日常的に伝え合い、職員間で情報共有しながら、対応に統一性を持たせるように留意しています。また、必要があれば学校や保護者と連携できるようにしています。
2-2- (2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】	
(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。	
(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	各部屋とも、子どもたちが選択できるようなあそび、工作、遊具の提供に努め、環境整備しています。プレイルームには、遊びのメニュー表を掲示し、子どもたちが相談して遊びを決める際の参考となるよう配慮しています。子どものアイデアから生まれた「ひらめきンドッジボール」や「いれかわりめちゃぶつけ」などもあります。
2-2- (3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】	
(a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
(b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。	
(c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	特にプレイルームでは子どもたちが30分毎に相談して遊びを決める事により、異年齢の子ども同士が関わりを持てるように援助しています。また、他の部屋においても、小さな譲り合いや教え合いなどを促し、交流が生まれるよう促しています。
2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
職員から子どもたちに働きかけ、子ども自身の「～やりたい」を聞き出すようにしています。「宝島子ども会議」や「館まつり」などを通じてやりたいことを募り、自主性や主体性を持って思いを形にできるよう努めています。	職員の経験年数によって、活動や遊びの提供に差が出ないよう、職場内や近隣児童館で事例研究や実技研修を開催し、職員同士で学び合っています。

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	「災害時初期対応マニュアル」に基づき、毎月1回防災・避難訓練を実施しています。訓練は、地震、火災、水害、不審者侵入等様々な状況を設定し、警察署の協力も得ながら充実した訓練になるように工夫しています。併せて月1回、利用児の保護者向けにも安心でんしょぼとの配信訓練や、災害用伝言ダイヤルの体験利用を促しています。
2-3-(2) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。 (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。 (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>基本的な感染症対策として、開館前と閉館時に館内の消毒作業をしています。同時に施設点検を行い、各部屋とも利用者にとって危険がないか、設備や遊具に異変がないか等をチェックし、必要に応じて修繕や入れ替えを行っています。また、危機管理研修を受講するなどして、全職員の安全管理意識や理解が深まるよう努めています。</p>
--	--